

## 電笑戦 ワークショップ開始手順

2022/07/25

シニアエバンジェリスト 亀田

[はじめに]

電笑戦ワークショップの本体は

<https://github.com/aws-samples/bokete-denshosen>

こちらです。このワークショップでは機械学習初心者でも画像を用いた推論まで行えるよう Jupyter Notebook 形式でシナリオが提供されていますが、Jupyter Notebook の起動は Amazon SageMaker Studio を起動する必要があります。この手順書では、ハンズオンシナリオを起動させるまでの手順書を纏めています。

1. マネージメントコンソールで SageMaker にアクセスします
2. [今すぐ始める]をおします
3. [SageMaker Domain をセットアップ]をおします
4. [デフォルトの実行ロール]で[新しいロールの作成]を選びます
5. 表示されるダイアログで[任意の S3 バケット]を選び[ロールの作成]をおします

**IAM ロールを作成する**

IAM ロールを渡すと、ユーザーに代わって他の AWS のサービスでアクションを実行するアクセス許可が Amazon SageMaker に与えられます。ここでロールを作成すると、[AmazonSageMakerFullAccess](#) 作成する IAM ポリシーで記述されたアクセス許可が付与されます。作成する IAM ロールにより、以下へのアクセスが提供されます。

☒ 指定する S3 バケット - オプション

- ☒ 任意の S3 バケット  
自分のノートブックインスタンスにアクセスできるユーザーが、アカウント内の任意のバケットとそのコンテンツにアクセスすることを許可します。
- ☐ 特定の S3 バケット  
例: `bucket-name-1`、`bucket-name-2`、`bucket-name-3`  
カンマ区切り。ARN、「\*」、および「/」はサポートされません。
- ☐ なし

☒ 名前に「sagemaker」が含まれる任意の S3 バケット

☒ 名前に「sagemaker」が含まれる任意の S3 オブジェクト

☒ タグ「sagemaker」と値「true」が含まれる任意の S3 オブジェクト [オブジェクトのタグ付けの表示](#)

☒ SageMaker へのアクセスを許可するバケットポリシーを持つ S3 バケット [S3 バケットポリシーの表示](#)

キャンセル **ロールの作成**

6. [送信]をおします
7. デフォルト VPC を押し、適当なサブネットを選び、[保存して実行]をおします

VPC を選択

×

複数の VPC があります。SageMaker Domain で使用する VPC を選択します。

☐ vpc-0096117f437166b74 (10.10.0.0/16) | observability
 ☒ デフォルト vpc-071ef70c7b103769f (172.31.0.0/16) | default

サブネット

Amazon SageMaker でサポートされているアベイラビリティーゾーンのサブネットを選択します。

▼

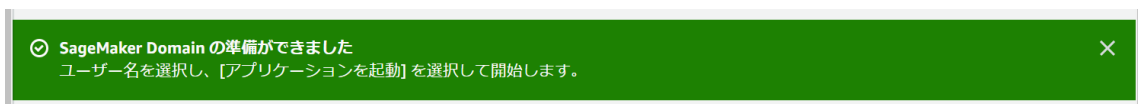
subnet-0e066afd4612c0887 (172.31.0.0/20) | ap-northeast-1c

×

キャンセル

保存して続行

8. 作成されるまでしばらく待ちます。画面にエラーが表示されますが日本語版マネジメントコンソールの問題ですので無視してください。
9. 以下が表示されれば完了です。



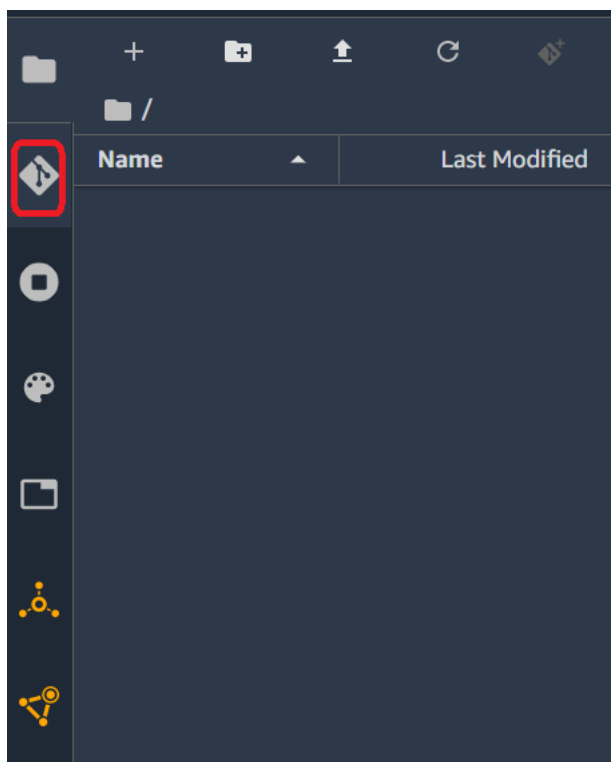
10. [アプリケーションを起動] から [Studio] を選びます

名前 ▼				変更日: ▼	作成日時: ▼	
default-1658740129503				Jul 25, 2022 09:14 UTC	Jul 25, 2022 09:14 UTC	<div>アプリケーションを起動 ▲</div> <div>Studio</div> <div>Canvas</div>

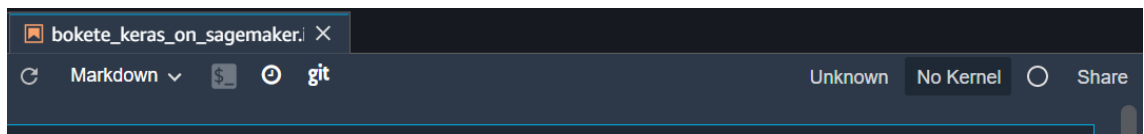
11. SageMaker Studio の起動を待ちます



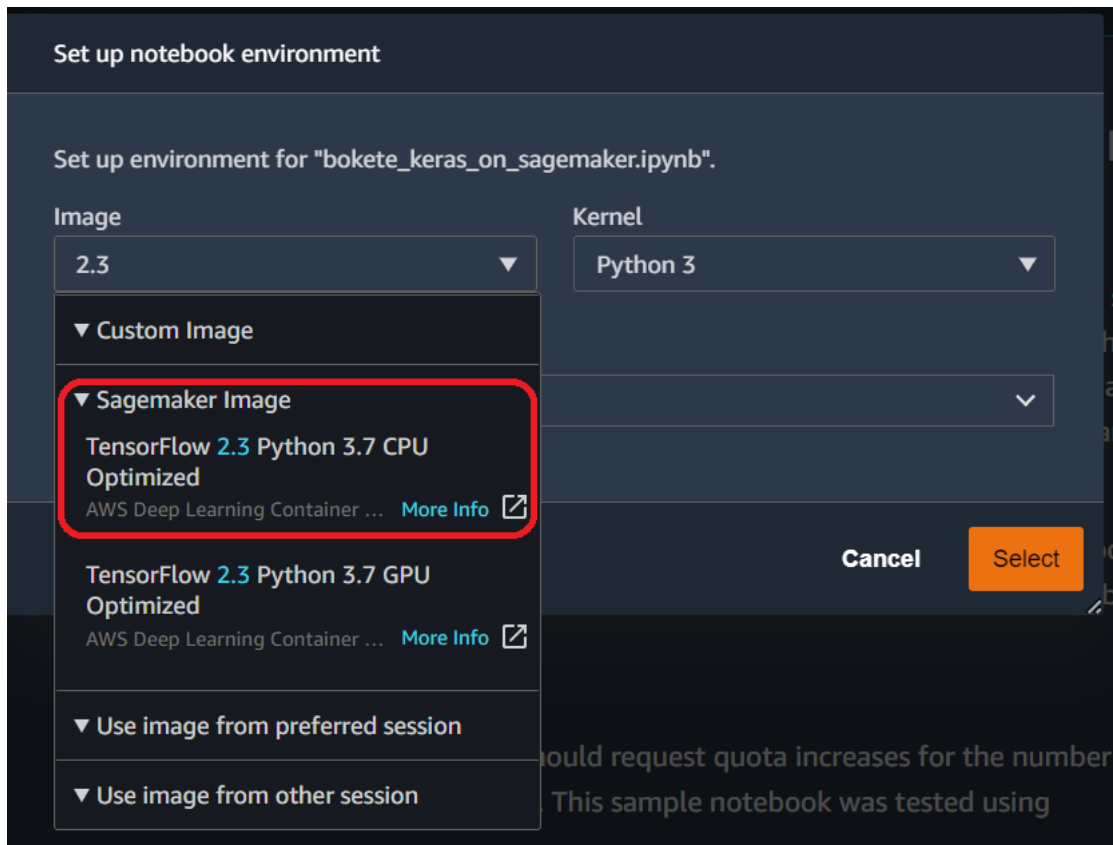
12. 起動したら左ペインで以下のボタンをクリックします



13. [Clone a Repository]をおします
14. 以下の URL をコピーして[CLONE]をおします  
<https://github.com/aws-samples/bokete-denshosen>
15. 以下のファイルをダブルクリックで開きます  
bokete-denshosen/notebook/keras\_baseline/bokete\_keras\_on\_sagemaker.ipynb
16. 右上の[No kernel]をクリックします



17. [Image]に 2.3 と入力し以下を選び、[Select]をクリックします



18. 画面下の[Kernel:starting]が[Kernel:Idle]になるまで数分待ちます

[Kernel:Idle]になったら、Jupyter Notebook の指示に従い上から順番に実行します

以下の部分の URL を任意の URL に置き換えることで好きな画像でボケることができます。

```
[ ]: image_url = 'https://d2dcan0armyq93.cloudfront.net/photo/odai/600/2182ab815bdb2abae3b67e723861ac08_600.jpg'
# image_url = 'https://d2dcan0armyq93.cloudfront.net/photo/odai/600/0235436e0d5d54c882f485e367f68fe6_600.jpg'
# image_url = 'https://d2dcan0armyq93.cloudfront.net/photo/odai/600/db6e0eb2dd26330e1884d0812d78e783_600.jpg'

!wget {image_url} ./
image_path = image_url.split('/')[-1]
```

画像を置き換えた後は、この箇所から順番に実行してってください。

削除方法：

Jupyter Notebook を閉じます

SageMaker のマネージメントコンソールをブラウザ別タブで開きます

[SageMaker Studio を起動]をおします

ユーザー(default-xxxxx)をクリックします

[アプリケーションを削除]を押し削除します：tensorflow-2-3-cpu-py3-ml-m5-large-xxxxx

アクション→削除を押し削除します：default

(削除が完了したら) 画面右下[編集]をおします

[Domain]の右側にある歯車をおします

[ドメインを削除]をおします

左ペインから[推論]→[モデル]を選び、モデル(bokete-xxx)を削除します

同様に[推論]→[エンドポイント設定]を選び、全て削除します

同様に[推論]→[エンドポイント]を選び、全て削除します

CloudWatch ロググループ [SageMaker]が含まれているもの全て

S3 バケット [sagemaker]が含まれているもの全て

EFS (作成日時を見て) 全て

IAM ロール sagemaker が含まれるもの全て